

平成 25 年度第 1 回 JCN 小田原番組審議会議事録

JCN小田原では、放送番組審議会を設け、審議委員による審議会を開催し、自主制作番組について多岐にわたって審議していただき、地域の皆様に親しまれ、信頼を得られるよう、よりよい番組作り、番組の適正化に努めております。

◆日時 2013 年 7 月 18 日 (木) 10:30～13:00

◆場所 JCN小田原 2 階会議室

◆出席者

<審議委員・敬称略>

会長・芳澤 一夫

副会長・浅野 俊哉

委員・井澤 幸雄、高井 信子、山本 靖、遠藤 隆佳、柏木茂高

<欠席>樋口 正人

<JCN小田原>

山田 文雄(代表取締役社長)、佐久 淳一郎(取締役 営業部長)

岡田 哲也(取締役 総務部長)、山本 孝夫(監査役)

日沖 英明(JCN神奈川エリア制作室長)

保田 典子(コンテンツ部課長)

◆放送番組審議会 概要

(1) JCN小田原 社長あいさつ

(2) 審議員の紹介と委嘱について

(3) 前回の審議会の意見を受けた JCN小田原の取り組みについて

(4) 2013 年度の小田原局自主制作番組の取り組みについて <映像視聴>

(5) 2013 年度新たな取り組みについて

(6) JCNPLUS リニューアルについて

(7) 2013 年度 JCNグループコンテンツ 神奈川エリア・広域番組について

◆委員からの主な意見

*委員から以下の意見があり、今後の自主番組制作の参考にさせていただくこととしました。

【災害・防災情報について】

- ・台風時などに道路状況がわかると良い
- ・県が各河川に設置しているカメラで増水の様子がわかるが、災害時にはアクセスが集中し、HP を見ることが出来ない。すぐに映像提供してもらえないかもしれないが、引き続き、要望は出していくべき
- ・防災意識を高めるため、日ごろから「防災」をテーマにシリーズなどで情報発信してほしい。たとえば、自衛隊の活動や小学校での宿泊訓練、災害時の自治会の動き、地域の資機材についてなど、知らないことが多いと思う。番組を見てヒントになるのでは。

【地域メディアの役割について】

- ・ヒルトンは地元利用が減少傾向にある、市民にもっと知ってもらうため、番組で何かできないか。
- ・小田原の魚のブランド化や都市セールスなど、プロジェクトが立ち上がっている。市民に広く周知したい。
- ・エリア内だけでなく、箱根情報などをもっと取り上げては
- ・下期から始まる富士山をキーワードとした番組では、ぜひ「地元ならではの目線」を生かした内容にしてほしい

【その他・CM コンテストについて】

- ・CM コンテストについて、高校生にも対象を広げ、映像を「携帯」に限定して募集をかけても面白いのでは。
- ・自由テーマより、ある程度限定した方が投稿しやすいのでは。たとえば、小田原市の小学生が学習している「二宮尊徳」の学習成果を映像でまとめても良いと思う。

※その他 具体的な取材情報などについてもご意見・質問をいただきました。

(※各委員からのご意見を抜粋して掲載しております)

JCN小田原 放送番組審議会 事務局